

別紙標準様式（第7条関係）

△ 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第2回枚方市病院事業運営審議委員会
開 催 日 時	平成30年9月10日（月） 15時00分から 16時20分まで
開 催 場 所	市立ひらかた病院 2階 講堂
出 席 者	委員：田口委員長・山口委員・野口委員・岩本委員・福留委員・堀井委員・藤本委員 病院：高井病院事業管理者・森田病院長・坂根副院長・木下副院長・赤塚副院長・林副院長・白石看護局長・岡市事務局長 他
欠 席 者	原委員
案 件 名	1. 市立ひらかた病院改革プランの取り組みに係る現在の状況について 2. 大阪北部地震及び台風21号にかかる被害状況について 3. その他
提出された資料等の 名 称	・市立ひらかた病院改革プランの計画値と実績値の比較について ・大阪北部地震及び台風21号にかかる被害状況等について
決 定 事 項 等	・案件1～3について説明を受け、質疑応答にて確認を行う。
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者	—
所管部署（事務局）	市立ひらかた病院 事務局 経営企画課

審 議 内 容	
○委員長	<p>開会に際しまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、本日の委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>暦の上では立秋を過ぎましたが、暑さは依然として厳しいものがございます。皆様におかれましては、お体にご自愛くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の委員会の案件は、「市立ひらかた病院改革プランの取組に係る現在の状況について」などを予定しております。</p> <p>委員の皆様には、委員会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。開会のあいさつとさせていただきます。</p> <p>それでは会議に先立ちまして、委員の出席状況について事務局に説明を求めます。</p> <p>岡市事務局長。</p>
○岡市事務局長	<p>委員の出席状況についてご報告致します。</p> <p>本日の委員会の出席委員は7名でございます。</p> <p>なお、原委員につきましては、所用のため欠席する旨のご報告をいただいております。以上で報告を終わります。</p>
○田口委員長	<p>ただいま報告がありましたとおり、出席委員は定足数に達しておりますので、これより平成30年度第2回枚方市病院事業運営審議委員会を開会いたします。</p> <p>本会議の公開・非公開の取り扱いにつきましては、第1回委員会において、公開とさせていただくことになりましたが、本日、傍聴希望者はおられますか。</p> <p>山本経営企画課長。</p>
○山本経営企画課長	<p>本日、傍聴希望者はいらっしゃいません。</p>
○田口委員長	<p>それでは、まず、病院事業管理者よりあいさつをお受けしたいと思います。</p> <p>高井病院事業管理者。</p>
○高井病院事業管理者	<p>[高井病院事業管理者の挨拶]</p>
○田口委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。</p> <p>案件第1「市立ひらかた病院改革プランの取組みに係る現在の状況について」を議事とします。事務局に説明を求めます。</p> <p>山本経営企画課長。</p>

○山本経営企画課長

それでは、案件「(1) 市立ひらかた病院改革プランの取組に係る現在の状況について」ご説明させていただきます。資料1ページと別冊で用意させていただいています、市立ひらかた病院改革プランの第3章「地域医療構想を踏まえた役割の明確化の5. 医療機能・医療品質に係る数値目標を示している20ページ及び第4章「経営の効率化」1. 経営の効率化に係る数値目標を示している22ページも合わせてご覧ください。

はじめに「1. 医療機能・医療品質に係る数値目標」の平成29年度実績でございますが、救急車来院患者数については、救急搬送患者の積極的な受け入れを行ったことから、改革プランの目標2,920人に対して4,061人でした。手術件数については、目標3,001件に対して3,019人で目標を上回ることができました。紹介率については、目標70%に対して、51.1%で目標には及びませんでした。逆紹介率については、目標70%に対して、75.8%で目標を上回ることができました。

次に「2. 経営の効率化に係る数値目標」の平成29年度実績でございますが、経常収支比率については、目標96.3%に対して90.5%で目標には及びませんでした。医業収支比率については、目標93.3%に対して86.5%で目標には及びませんでした。医業収益に対する職員給与費の割合については、目標54.4%に対して58.6%で目標には及びませんでした。医業収益に対する材料費の割合については、目標17.0%に対して18.1%で目標には及びませんでした。1日平均入院患者数については、目標261.6人に対して237.8人で目標には及びませんでした。1日平均外来患者数については、目標821.3人に対して823.5人で目標を上回ることができました。外来入院患者比率については、目標210.7%に対して231.5%で目標には及びませんでした。病床利用率については、目標80%に対して72.7%で目標には及びませんでした。入院診療単価については、目標54,655円に対して53,874円で目標には及びませんでした。外来診療単価については、目標11,659円に対して11,185円で目標には及びませんでした。

平成29年度実績につきましては、病床利用率が伸び悩んだことから、医業収益が想定したほど増加しなかったため、「経営の効率化の数値目標」については、大部分が達成することができませんでした。

なお、市立ひらかた病院改革プランについては、収支計画が実績と乖離があることや、現状の取り組み内容を踏まえて、内容を見直していきたいと考えています。

次に、平成30年度の業務状況について報告させていただきます。2ページ以降をご覧ください。まず初めに病床利用率ですが、

	<p>4月から8月まで、すべての月で平成29年度を上回っており、8月は、開院以来はじめて85%を超えることができました。入院収益と診療単価につきましても4月から8月まですべての月で平成29年度を上回っています。外来収益と診療単価につきましても収益につきましても、4月から8月まですべての月で平成29年度を上回っています。手術件数と収益につきましても4月から8月まで、すべての月で平成29年度を上回っています。最後に救急外来の応需件数及び入院率につきましても4月から8月まですべての月で平成29年度を上回っています。</p> <p>平成30年度につきましては、現在のところ各月とも29年度の実績を上回っており、今後もこのような状況を継続できるよう頑張っていきたいと考えています。説明は以上でございます。</p> <p>これよりご質問・ご意見をお受けします。 ご質問・ご意見はありませんか。</p> <p>今説明された内容は、平成29年度の実績が当初の改革プランの数値より低かったので、改革プランを修正していくと言われたと思いますが、その後の説明は平成30年度の実績が平成29年度の実績を今のところ上回っているという内容かと思えます。そうするとなぜ修正するのか解りかねます。また、当初のプランの中では、「入院患者満足度」というのがありますが、平成29年度の実績値にはありませんが、説明をいただきたい。</p> <p>今日は詳細な数字を準備しておりませんが、患者さんからは、非常に良い、または良いという評価をいただいております。</p> <p>見直しについてですが、一番乖離していますのが、病床利用率と入院単価で、これについて数字を見直すこととなります。</p> <p>今年度を見ると、病床利用率は7月から8月にかけて上昇し、入院収益は下がっていますが、結局、実績が70%少しに対して、目標値が85%なので、目標値を下げていくということですか。</p> <p>数値については、改革プランの23ページ以降にありますように当時の状況を基に、様々な数値を設定しました。単に目標を達成できなかったから見直しをするのではなく、当時と今の取り組みが診療報酬の改定なども有り、変わっております。そういったことを踏まえて、改めて詳細な数値を設定していくのが主旨です。</p>
○田口委員長	
○野口委員	
○松村医事課長	
○山本経営企画課長	
○野口委員	
○山本経営管理室長	

○岩本委員	<p>前回の審議会でも、様々な取り組みをしていくということだったと思いますが、今回こういう努力があつて、こういう数値の変更があるという説明ならわかりますが、全体的な状況が変わったから、数値を見直すということなのですか。</p> <p>半年間の努力したことに対し、その結果を説明していただいた方が良いと思います。</p>
○高井病院事業管理者	<p>病院運営審議会の場で、広く掲げている改革プランの状況をその都度報告させていただいております。まずは平成 29 年度の結果が出てきましたので、まずは報告させていただいた次第です。平成 29 年度の厳しい数字が出てきております。しかしながら前回の審議会でもお示しさせていただいたとおり、今年度様々な取り組みの強化を病院全体で行っております。途中経過ですが、平成 30 年度現在は平成 29 年度に比べて、良化した点も増えていますので、グラフで現在の状況をお示ししています。</p>
○野口委員	<p>平成 29 年度の実績に対して、半年間努力したけれども到達できないので修正していくという風に聞こえるのですが、それで経営上どうなのか。改革プランとしてどうなのか。疑問に思います。この間に一定努力した経過とどの部分に問題があったなどの説明もしていただきたいかと意見として申し上げます。</p>
○福留委員	<p>いきなりこの数値の報告を受けて質問ということですが、今の説明を受けて、数字はわかりましたが、どのようにしたいのかがわからない。課題があれば今後の対応や方向なども資料に付け加えていただきたい。資料も事前に配付していただければ、細かな部分の質問もできるのではないかと思う。次回、少しやり方を考えていただきたいと思います。</p>
○岩本委員	<p>説明を受けてですが、そもそも改革プランの数字の設定に無理があったのではないか。どういう見立てで進んでいたのか。最初に作った計画のあり方が間違っていたのではないか。それは修正されるということなので、改善であるのですが、最初どういう目標設定をしていたのかお伺いしたい。</p>
○高井病院事業管理者	<p>目標数値の設定は、今手元にありませんが細かな積算や内訳によるものです。その一番大きいものが改革プラン 22 ページの第 4 章 経営の効率化の③収入確保に係るもので、その中に病床利用率があります。この改革プランの前の計画である中期経営計画というのがあり、その当時からの病床利用率がありました。その中期経営計画の数値を踏まえてこの改革プランも作ら</p>

	<p>れておりまして、当然、病床利用率、入院単価等の設定によって、収入や経営状況が今後どうなっていくのかというのが、この改革プランの収支見通しとなっています。その中で平成 32 年度にプライマリーバランスを単年度黒字に持っていくというのが、これまで本院を建設するにあたって掲げてきた目標です。それをこの計画でも当然崩すことなく、踏襲してきたのでこの病床利用率があります。あとの経常収支比率や医業収益に対する職員給与費の割合などは、収益をベースに支出をどれだけ削減できるか試算した経過があります。委員ご指摘のとおり、無理している部分もあり、その部分の再検証と、先程、数値が達成できないから見直すという説明に聞こえてしまったと思うのですが、様々な取り組みを行ない、一定時間はかかりますが、病院の収益は変わってくる部分があります。平成 29 年度に力を入れてきた取り組みが、平成 30 年度に入って少し形になって現れてきたと思っていますので、平成 30 年度の数値もあげております。平成 29 年度及び平成 30 年度の取組の内容と、この改革プランの取組の内容も、メリハリが付いている部分があるので、その部分は修正をかける必要があります、そういった主旨でこのプランを時点修正する必要があると考えています。</p> <p>次回の審議会では、ご指摘いただいた点を踏まえて、この冊子を整理した形で見ていただきたいと考えています。本日は速報値的なことでお示しをさせていただいておりますが、資料の方でお気づきの点があれば、ご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>資料についてですが、今年の現時点での目標に対する達成率を示さないと、今年も 8 月まで前年に比べて数値が上回っていたが、終わってみたら達成できていないことになりかねません。そのあたり次に提示いただけるということですが、現時点ではどのような感じかお伺いしたい。</p> <p>現在、病床利用率は 80% に達していないのですが、診療単価が上がっておりまして、8 月現在、予定通りとなっております。</p> <p>8 月の病床利用率が上がっている要因を伺いたい。地震や猛暑などによる要因なのか、病院の努力による要因によるものなのかどのようにとらえているのか。</p> <p>特に 8 月ですが、熱中症による入院によるものもあります。それ以前に、病院として入院患者数をどう増やすかという取組を行っており、医師の協力を求めながら、地域連携の強化、救急患者の受け入れと、必要に応じてですが入院に繋げるという</p>
○岩本委員	
○山本経営企画課長	
○岩本委員	
○松村医事課長	

<p>○岩本委員</p>	<p>活動を本院の方針の基で集中的に取り組んでいます。</p> <p>改革プランに修正をかけるとのことですが、高齢者も増えますので、国の制度も様々な調整があると思います。こういった数値は、毎年制度も変わっていくので、今年作ったものが20年、30年続くものでもないと思います。変わっていくことを前提に、ある程度柔軟な組織の体制にしたり、身の丈にあったというか、部分的に縮小することも含め、国の制度の変更にも対応できるようにする、そういう時代であると思います。30年もつ計画よりも、変化していくことを前提に作っていく必要があると思います。前回も示された医師を増やすという方向性は必要と思いますが、社会も国の制度も変化することを意識しながら、必ずしも120%、150%のものを作ることが目的ではないのではないかと意見として申し上げます。</p>
<p>○堀井委員</p>	<p>先程、福留委員からも話があったと思いますが、病院運営審議委員会の位置付けをお伺いしたい。</p>
<p>○高井病院事業管理者</p>	<p>当委員会の位置付けですが、病院事業管理者の求めに応じまして、委員会として経営に関する様々なご意見をいただくという位置付けです。</p>
<p>○堀井委員</p>	<p>管理者が意見を求めたいという位置付けでしょうか。</p>
<p>○高井病院事業管理者</p>	<p>位置付けはそのようになっておりますが、実際には様々な病院の経営状況について、外部の方のご意見を多方面からいただくことが本旨と考えております。</p>
<p>○堀井委員</p>	<p>もしそのように謙虚な気持ちで委員会に望んでおられるなら、このように根幹に関わる重要な課題を、今日資料を出されて、淡々と説明をされて、意見は無いでしょうかというのは、あまりにも乱暴ではないかと、私は思います。もし本当に真意を質したい、市民や市議会の意見も聞きたいのであれば、もう少し懇切、丁寧な扱うべきではないかと、これは意見として申し上げます。</p> <p>次に、この改革プランは、作られたことに無理があったのではないかとと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>○岡市事務局長</p>	<p>先程、管理者が申し上げたとおり、内容については中長期計画がありまして、その中で病院を運営する上で、改革プランを策定し、その目標を掲げて取組を行っていくという意味では、</p>

	<p>重要なプランであると位置づけております。またその内容を目標にして、様々な取組を医師、看護師、病院スタッフが丸と なって、2年に1度の診療報酬改定も踏まえながら、本院の特性 を出した診療をしていくというものを、改革プランの一つの大 きな柱にして、取り組んでいくことは非常に重要あったと考 えています。</p>
<p>○堀井委員</p>	<p>私はこのプランが作られたことに非常に無理があったのでは ないかとお尋ねしています。</p> <p>改革プランの32ページの「おわりに」の文章にあるのですが、 「本改革プランに記載した各種取組を着実に推進することで、 市民の生命を守る市立病院としての役割を果たしてまいりま す。」と有りますが、実行されていないことから相当無理があ ったのではないかと考えています。また、市立ひらかた病院改革 プラン策定委員会の開催状況ですが、第1回の開催が平成28年 12月で、最終の開催が平成29年3月と、わずか3、4ヶ月でこ れだけのものを努力されて作られたとは思いますが、そこに相 当無理があったのではないかと考えています、いかがでしょうか。</p>
<p>○岡市事務局長</p>	<p>確かに短い期間で策定されていまして、当時、私は居りませ んでしたが、外部のコンサルタント等の意見も聞きながら、策 定したと聞いております。その形にするまではこれくらいの期 間で仕上げたと思いますが、それに至るまでの検討については、 旧病院からの経験を踏まえての検討であったと考えておりま す。現実的に今の数字が乖離していることについては、委員が おっしゃるとおり、策定期間が短かったから乖離に繋がってい るのではないかとということと、先程管理者が申し上げた経営 していく上で必要であった数字との乖離というところの二通り の意味があって、期間的な意味と数字的な意味は若干違うと考 えております。</p>
<p>○堀井委員</p>	<p>平成29年3月13日開催の第3回の策定委員会でプランが策 定されていますが、その年の4月からの1年間すら、目標に到 達できていないことは、策定されたそのものが間違っていたの か、色々な要因で狂ってきたのでしょうか。大きな地震や台風 によるものならそれなりに理解できますが、こういうことでは ずさんであると私は思います。意見は求めません。ただこのよ うな重要なことを今日会場に来て、資料を出されて、質問や意 見はありませんかというのは、あまりにも失礼なやり方である と思いますので、今後、改めていただきたいと申し上げます。</p>

<p>○藤本委員</p>	<p>病院の経営は、非常に難しい時代になっていまして、我々の方では、「ほどほど通院、時々入院」というのが、前々回の改定で国の施策になっています。国の施策で「あまり病院に行って入院するな」となっているのに、病床利用率を上げなければならないという裏腹の状況になっているのかと思います。</p> <p>また、平成 29 年度と平成 30 年度の数字を比べると、患者さんに関する数字は伸びているのではないかと思います。救急車来院患者数、手術件数、病床利用率も良い方向に向いていると思います。ただそのことが経営状況にどこまで反映するかというのが、残念ながら今の公的病院でも経営を考えなければならない時代にあっては、経営効率を上げることが大事であります。今まで聞いていて気になるのが、なんとなく実績ありきが先にあって、こういう目標がどうしても必要であって、それに向かってこういう無理なプランが出てくるのかなと思います。紹介率についても、平成 29 年度の目標が 70% に対して、現状では 50% をいかに超えるかという状況であるので、そこで約 20% の乖離があります。やはり実績が可能な目標を設定して、それに向けてどのように対処するのか、という計画が必要ではないかと思います。</p>
<p>○田口委員長</p>	<p>他ご質問・ご意見はありませんか。</p> <p>特にないようですので、本件については、この程度にとどめます。</p> <p>次に案件第 2 「大阪北部地震及び台風 21 号にかかる被害状況について」を議題とします。事務局に説明を求めます。</p> <p>松下総務課長。</p>
<p>○松下総務課長</p>	<p>それでは「大阪北部地震及び台風 21 号にかかる被害状況について」を説明させていただきます。資料の 7 ページをご覧ください。本年 6 月 18 日午前 7 時 58 分に発生し、枚方市域で震度 6 弱を観測した大阪北部地震及び、9 月 4 日午後から夕方にかけて発生した台風 21 号による本院への影響について、報告をさせていただきます。</p> <p>まず、大阪北部地震の影響についてです。発生直後の対応ですが、地震発生時には既に大半の職員が出勤していたことから、病棟患者や施設の被害状況等の確認を速やかに行い、即座に病院内における対策会議を設置しました。</p> <p>発災直後ですが、入院患者や外来患者に被害が無かったこと、また、病院施設への被害が無かったことから、通常どおりの診療を実施することを午前 8 時 30 分に決定しました。</p> <p>続いて午前 10 時 30 分には、各部局が詳細な状況報告を行う</p>

とともに、病院として、改めて救急受入態勢の強化を図ることを決定しました。また、今後の余震に備え、夜間等における配備体制等の再確認を行いました。

続いて発災翌日ですが、前日の地震による患者数の確認や、本日以降も通常どおりの診療を実施すること等を確認しました。

なお、この地震の影響による患者数についてですが、外来患者9名で、救急搬送5名、うち2名が入院となっております。

続きまして、台風21号の影響についてです。

まず前日の対応ですが、台風21号の上陸が予想されることから、翌日の職員の勤務体制を確認するとともに、施設関連の再度の点検を行うことを決定しました。

続きまして当日の朝ですが、当日の職員の出勤状況を確認のうえ、通常どおり診療を実施することを確認しました。また、前日に引き続き、施設関連の再度の点検を行うことを決定しました。

続きまして台風通過中ですが、被害状況等、各部局による状況報告を行い、今後の対応及び課題等を共有しました。

なお、台風21号の影響による患者数についてですが、外来患者2名で、救急搬送2名、うち1名が入院となっております。

また、台風21号の影響による被害の状況については、断続的停電が14時10分より発生しました。後に自家発電装置に自動で切替わっております。また建物の被害として、屋上及び外周ルーバーフェンス欠損、救急搬送口付近の鉄製の扉が破損、正面玄関通路シェルターにおけるルーフカバー及び柱カバーが欠損となりました。

続きまして、今後の職員の体制及び意識向上についての取組です。まず、設備面ですが、大規模な災害時にも機能できるよう、免震構造や災害用設備について、今後も引き続き定期的な設備点検を実施します。次に職員の体制及び意識向上についてですが、患者の生命と安全を確保するとともに、地域の医療救急活動の拠点である「災害医療センター」としての責務を果たすべく、職員一人ひとりが迅速かつ適切に行動できるよう、災害医療訓練等を更に充実させ、災害時の体制整備や職員の意識の向上を図っていきたいと考えています。

最後に、現に策定している「市立ひらかた病院災害対応マニュアル」について、今回の災害による本院の被害状況等も踏まえた、より実態に即した内容となるよう改訂していきたいと考えています。説明は以上でございます。

○田口委員長

これよりご質問・ご意見をお受けします。

	<p>ご質問・ご意見はありませんか。</p>
○福留委員	<p>地震発生直後に、大半の職員が出勤しているというのですが、当院は何時から出勤となっていますか。</p>
○松下総務課長	<p>当日の医療スタッフは8時半からの勤務ですが、看護師や医療スタッフは24時間体制で勤務していることから、前日から泊まって勤務しております。</p>
○福留委員	<p>建物が免震構造になっていますが、地震の揺れは体感でどんな感じでしたか。</p>
○森田病院長	<p>縦揺れの衝撃はあったものの、横揺れの時間は短く、今回、免震装置が15cm程動いたとのことでした。</p>
○福留委員	<p>地震による病院自体の被害はなかったのですか。</p> <p>建物自体の被害はありませんでした。</p>
○福留委員	<p>日頃地震に対する訓練をされていると思いますが、実際地震が発生して、上手くいかなかったことなどの反省点を何か感じられておられますか。</p>
○山本経営管理室長	<p>地震の際、免震構造のおかげで建物や患者さんに被害が無かったので、地震が午前8時前に起こって、患者さんも待っている状況で、通常の診療を行えたことが、実際のマニュアルでは想定されておりませんでした。一方、今回は職員が出勤していましたが、もし夜中に発生していたら医師の参集が上手くできたのか、こういうことが課題として出ましたので、今後考えていかなければならないと思います。</p> <p>台風に関しては、マニュアルが地震の想定で作られているため、想定を上回る被害が出ましたので、今後そういった想定を盛り込んでいかなければならないと考えています。</p>
○田口委員長	<p>ご質問・ご意見はありませんか。</p>
○野口委員	<p>ほとんどの職員が出勤ということですが、職員の参集率はいかがでしょうか。</p>
○松下総務課長	<p>全体の参集率ですが、前日の医療スタッフを含めて、概ね65%程度ですが、これは実際、来なければならぬ職員の割合ではな</p>

○野口委員	<p>く、そもそも病院は24時間体制であるため、何を以て100%とするのか難しいのですが、その日のその時間に勤務が割り当てられている割合について、私の体感ですが、90%以上は出勤していたと感じております。</p> <p>そうすると交通手段が電車である職員が少なく、車による職員が多かったのかと思います。公共交通機関は一日中、動かないこともあるので、交通手段が自家用車である職員を、病院として配慮することも必要ではないかと思います。本庁の参集率が低かったことに比べて、病院は参集率が高かったと聞いて安心しました。</p>
○堀井委員	<p>先日の全員協議会の場で、病院の職員の出勤率が60数%と聞いているが、問題はなかったのですか。</p>
○松下総務課長	<p>先日も説明不足であったかと思いますが、本病院の職員のうち、65%程度の職員が出勤したということで、100%出勤しなければならない職員のうち、65%ではありません。そもそも3交代などで職員を配置しており、昼間や夜間の勤務など様々であるため、単に全体の職員に対して65%程度ということです。</p>
○堀井委員	<p>要は、その時点で医療スタッフが何人いれば100%であるという風になっていると思いますが、午前7時58分の発生時点で100%だったのか、60%程度だったのかをお聞きしています。</p>
○松下総務課長	<p>発災した時点では、体感ですが、90%以上であったと考えております。</p>
○堀井委員	<p>きちんとその時点で100%に近い職員が病院に居ないと運営できないということだと思います。</p> <p>次に台風の際に断続的な停電により自家発電に切り替わったとのことですが、病院の自家発電は何時間位もつのですか。</p>
○松下総務課長	<p>概ねですが、1週間程度は持続できます。</p>
○山口委員	<p>1週間ということですが、病院の全電源をまかなうことができるのですか。</p>
○松下総務課長	<p>コンビニなど含めて病院の全ての部分をまかなう場合、概ね3日間程度ですが、事務所等を含めて節電した上で、医療上の必要な部分について1週間程度持続できます。当院の非常電源は重油</p>

	<p>でなく灯油により使用しており、灯油を継ぎ足せば更に使用ができます。</p>
○山口委員	<p>非常電源の点検や機器の保守点検のサイクルについて伺いたい。</p>
○松下総務課長	<p>機器にもよりますが、一番細かいものでは月1回継続的に行っています。</p>
○山口委員	<p>今回の停電について手術等に影響はありましたか。</p>
○松下総務課長	<p>停電により一部のシステムに不具合が出て影響があったため、手術や放射線撮影等を翌日以降に延期させていただく対応はしましたが、風雨が強い時間帯が午後であったため、外来などの診察に大きな影響はなく、病棟の患者さんにも大きな混乱はなかったということです。</p>
○山口委員	<p>資料内にある「災害医療センター」とはどのようなことですか。</p>
○松下総務課長	<p>本院が災害医療センターに位置付けられており、災害が発生した際、本院が主軸となり、患者等を近隣の病院から受け入れるという地域の拠点となる病院と考えております。</p>
○山口委員	<p>近隣の大きな病院も災害医療センターということですか。</p>
○森田病院長	<p>関西医大枚方病院が2次医療圏の災害拠点病院ですが、本院は枚方市の災害医療センターです。災害が起こった際は、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院、吉田病院、佐藤病院が、本院と協力して様々なことを行えるように今年7月にマニュアルができた状況です。</p>
○藤本委員	<p>この地震の影響による患者数について、外来患者9名で、救急搬送5名、うち2名が入院とのことですが、9名ぐらいしか来ていないのですか。どのような統計の取り方ですか。</p>
○松下総務課長	<p>来院された際、カルテにより確認して、人数を把握しています。</p>
○松村医事課長	<p>救急の診療を行う際に、震災の関係で受診されたかどうかを、医師、看護師の方から聞き取っています。</p>
○岩本委員	<p>台風による被害の金額と対応状況等についてお伺いしたい。</p>

○松下総務課長	<p>システムについては、概ね2時間程度で復旧しました。施設について、保険等のことも考えて、業者へ依頼している状況です。また今後、同じような強風に耐えるように補修方法についても、業者と協議を進めています。</p>
○岩本委員	<p>今後の委員会でも事前に報告をいただきたいと思います。 また、資料内にある災害対応マニュアルについて「より実態に即した内容となるよう改訂する」とありますので、課題に対してどのように対応していくのかわかるように、委員会の事前に資料を配付するなどしていただきたいと意見として申し上げます。</p>
○松下総務課長	<p>いただいた意見を反映させていただきたいと考えています。</p>
○田口委員長	<p>他ご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件については、この程度にとどめます。 次に案件第3「その他」について、何かありますか。</p> <p>ご質問・ご意見は特にないようですので、以上で、本日の案件はすべて終了しました。 これで本日の議事を終了します。 閉会にあたり、病院長からご挨拶をお受けします。 森田病院長。</p>
○森田病院長	<p><森田病院長の挨拶></p>
○田口委員長	<p>以上で、本日の会議を閉会します。 長時間にわたり、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>